

## 新たな出発へ

学校長 梅田 比奈子

「地域合同防災訓練の時、みんながきちんと静かに並んで話を聞いていて、とても素晴らしかった。」先日、開催された学校運営協議会で委員の方から言われた言葉です。これは、当たり前的事かもしれませんが、今までの積み上げの中で育ってきた姿です。瀬ヶ崎小学校は、6年生の子どもたちがリーダーとして、様々な場面で素敵な姿を示してくれています。それは、一つの文化といえるかもしれません。昨年、6年生が学んだ「薬物乱用防止教室」。その時、お話をしてくださった保護司の方から、「子どもたちがとても素晴らしいです。話の聞き方もいいし、自分の意見をちゃんともっていて、発表していました。」と言っていただきました。そして、今年、やはり保護司の方からお褒めの言葉をいただきました。また、「課題意識をもって、その課題を自分たちで解決していこうという意識が育っている。」とも。このように、子どもたちの良さが引き継がれ、さらに、自分たちで考え、行動できるようになってきているのは、学校、地域、保護者と一緒に教育活動に取り組んできたひとつの成果だと思えます。また、今年度は、学校以外の多くの方にも、教育活動にご協力をいただきました。近隣の保育園、こども園、劇団四季、横浜中央市場、金沢区の農家、急な坂スタジオ、お茶の間、防災センター、金沢の工場、金沢動物園、柳町ケアプラザ、大学生、高校生、地域の方々……。本当に多くの方が学校に力を貸してくださいました。子どもたちは、たくさんの大人と出会い、教室だけでは学べないことを感じ取っていました。大人のすごさと憧れと……。そして、その出会いが、子どもたちのあたたかさも育てていったのではないかと思います。



先日、ご高齢の女性の方からお手紙をいただきました。荷物をもって坂を上っていたその方。何回も休みながら登っていた様子を見ていたのか、3年生の女の子二人が声をかけ、荷物を家の近くまで持ってくれたそうです。そして、6年生の男子にも助けられたということで、とても感謝しているという内容でした。こうした子どもたちを育てている家庭、学校は素晴らしいと。

子どもたちが、今日の前にあることを課題ととらえ、どうしたらこれを解決できるのかを考えて行動する。そして、その解決には、人としてのあたたかさがある……。これは大人でも難しいことですが、瀬小の子どもたちは、その姿で示してくれています。それが、学校評価で課題の一つになっている自分からの「挨拶」につなげられるようにさらに頑張っていきたいと思えます。

令和元年度が終わります。子どもたちは、次の学年、そして中学校へと新たな出発です。子どもたちの可能性は、素晴らしい。子どもたちと共に日々過ごせる幸せを、また、かみしめています。様々なご協力、ありがとうございました。